

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 30.4.18 第 196 回国会第 11 号

4 月 18 日（水）、第 11 回の委員会が開かれました。

1 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 23 号）

- ・石井国土交通大臣、牧野国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・矢上雅義君外 1 名（立憲）提出の修正案について、提出者初鹿明博君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
（賛成—立憲、希望、無会、共産 反対—自民、公明、維新）
- ・原案について採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、立憲、希望、公明、無会、共産、維新）
- ・盛山正仁君外 6 名（自民、立憲、希望、公明、無会、共産、維新）から提出された附帯決議案について、小宮山泰子君（希望）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、立憲、希望、公明、無会、共産、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

道下大樹君（立憲）

- ・移動の権利は国際的にも基本的な人権として認められており、本法律案にも移動の権利を明記すべきだと考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・障害者権利条約等を踏まえ、本法における障害者の定義を、「身体」だけではなく、「心身の機能上の制限を受けるもの」とするべきだと考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・2020 年東京パラリンピックの開会前に、障害者が空港、選手村間等の移動を円滑に行えるか鉄道車両やバスのバリアフリー化を調査し、その結果を公表する必要があると考えるが、見解を伺いたい。

初鹿明博君（立憲）

- ・移動等円滑化の進展の状況に関する評価会議について、構成員の比率は、障害者等が過半数となるのか、また、会議において出された意見を、次の施策にどのように反映させるのか、さらには、意見の公表はどの程度の頻度で行われるのか確認したい。
- ・社会福祉法人全国盲ろう者協会から、公共交通機関利用時に介助者の二人目についても割引運賃の適用を求める要望書が提出されたことを大臣は承知しているか。また、大臣から各事業者に協力を要請して頂きたいがどうか。
- ・移動等円滑化促進方針（マスタープラン）制度について、マスタープラン制度を創設する意義は何か。また、市町村の取組を進めるには基本構想の策定を支援すべきと考えるが見解を伺いたい。

盛山正仁君（自民）

- ・本法律案で基本理念を追加した意義と心のバリアフリーの推進に向けた国土交通省の取組方針について伺いたい。
- ・2020年東京パラリンピックを控え、ユニバーサル社会の実現に向けた大臣の抱負について伺いたい。
- ・地方におけるバリアフリー化の推進に向けた地方公共団体と国土交通省との連携の在り方について、見解を伺いたい。

鈴木憲和君（自民）

- ・現状で全体の約 2 割にとどまる移動等円滑化基本構想の策定実績への認識と、新たに努力義務とされるマスタープランの作成促進に向けた施策を伺いたい。
- ・心のバリアフリーの促進のためには障害者と体験を共有することが重要であり、大臣が定める移動等円滑化の促進に関する基本方針にも参加型イベントの意義を盛り込むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・様々な種類の障害がある中で、当事者からの幅広い意見を反映する仕組みが必要と考えるが、これについての方策を伺いたい。

赤羽一嘉君（公明）

- ・障害者と健常者の場を分けるバリアフリー化の施設整備が行われているが、障害者の人間としての尊厳のためにも障害者と健常者が分け隔てられることのないインクルーシブな社会の実現が必要ではないか。

- ・学校教育を通じ障害者に対する理解を深める心のバリアフリーを学ぶことが必要と考えるが、文部科学省の見解と取組を伺いたい。
- ・評価会議について、多様な障害者を構成員とすること、会議における改善提案を施策に反映させること、施策をフォローアップするために定期的を開催することなどを基本方針に定めることなども含め、その運営方法についての見解を伺いたい。

もとむら賢太郎君（希望）

- ・本法律案において精神障害者、知的障害者、発達障害者、難病患者等は移動等円滑化支援の対象とされているのか、また、具体的にどのような支援が想定されているのか伺いたい。
- ・公共交通機関の運賃割引について、精神障害者へのバス運賃の割引制度の地域間格差をなくし、サービスが等しく受けられるようにすべきであると考えているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・市町村がバリアフリー方針を定めるマスタープラン制度と地域公共交通網形成計画には重複する部分があるのではないかと考えるが、地域公共交通網形成計画の策定にもバリアフリーの観点が生かされているのか伺いたい。

森田俊和君（希望）

- ・市町村における基本構想について、現在までの策定件数への評価、改正後の策定の見通し、市町村への支援体制及び基本構想の策定、見直しにあたって障害者の声を反映させるための方策について伺いたい。
- ・UDブロックなど各市町村が有するバリアフリー化の好事例を全国に普及させるための方法について伺いたい。
- ・心のバリアフリーを今後どのように推進していくのか、大臣の決意を伺いたい。

広田一君（無会）

- ・災害時の避難所となる学校施設のバリアフリー化の現状認識、課題及び財政支援の在り方について伺いたい。
- ・駅のバリアフリーへの取組については、利用者数で区切るのではなく、高齢化が進む地方の実態を踏まえた支援が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- ・病院などの公共施設にある点字ブロックについて、車椅子及び入院患者から階段、スロープに設置した点字ブロックにつまづくといった指摘があるが、JIS規格化された基準にこだわらない等の検討が必要と考えるが、見解を伺いたい。

宮本岳志君（共産）

- ・将来的に「移動の権利」がバリアフリー法に盛り込まれることが望ましいと大臣は考えているのか伺いたい。
- ・「都市鉄道における利用者ニーズの高度化等に対応した施設整備促進に関する検討会」の中間とりまとめにおいて、「高度化されたバリアフリー」について「利用者負担の導入について、一定の理解」と位置付けることは妥当なのか。
- ・小規模店舗等のバリアフリー化に自治体の助成制度を活用する必要があるのではないか。

井上英孝君（維新）

- ・公共交通分野等における心のバリアフリーの充実に向けた機運の醸成のため、どのような取り組みを展開していると考えているのか伺いたい。
- ・子供用車椅子があるということの周知が図られておらず、子供用車椅子マークが普及していないため、公共交通機関でトラブルになることがある。このようなトラブルが起こらないようにするため、子供用車椅子の周知や子供用車椅子マークの普及について決意を伺いたい。
- ・車椅子のタクシー（ジャパンタクシー）乗車については、スロープの設置や座席の移動などで10分程度時間がかかってしまい、乗車拒否が懸念されるが、その払拭のためには自動車メーカーとの連携や車椅子対応のタクシー普及の後押しが必要と考えるが見解を伺いたい。